

**2022年度 京都大学フィールド科学教育研究センター  
舞鶴水産実験所 公開実習「博物館実習（館園実務）」  
募集要項**

**1. 授業科目：**

〔博物館実習（館園実務）〕

舞鶴水産実験所にある水産生物標本館には40万点以上（日本で2番目の規模）の魚類標本が登録・所蔵されており、博物館相当施設の指定を受けている。本実習では、現場で実際の活動を経験することで、博物館の理念や設置目的、業務についての理解を深めるとともに、標本等の博物館資料の取り扱いや社会教育活動の一端を担うことにより、学芸員としての責任感や社会意識を身につけることを目的とする。対面・合宿形式の実習を行う予定であるが、新型コロナウイルスの影響により予定を一部変更して行う可能性もあるため、実験所のウェブサイト（<https://www.maizuru.marine.kais.kyoto-u.ac.jp>）をこまめにチェックしておくこと。実習内容の詳細については「**10. 実習内容**」を参照すること。

本実習は「博物館実習」のうち「館園実務（館園実習）」のみを実施する。事前・事後指導を含む「学内実習」は所属大学にて受講する必要がある。本実習は京都大学生と合同で行う。

**2. 実施施設：**京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所（京都府舞鶴市）  
（新型コロナウイルスの状況によって、一部をオンラインや京都キャンパスで開催する可能性あり）

**3. 実施期間：**2022年11月22日（火）～26日（土）

**4. 対象学生：**理系学部・コース等に在籍する学部3年次生から大学院修士課程生  
※ 実習にあたっては、特に魚類に関する、ある程度の生物学・水産学的知識や経験が要求されます。

**5. 定員：**2名

**6. 成績：**本実習の成績評価は受講学生の所属大学が行う。1単位・30時間。  
※ 成績評価に関わる情報は必要に応じて提供します。

**7. 授業料及び参加費用：**

- ・授業料：不徴収
  - ・参加費用：実験所での宿泊費（1泊900円）・食費（昼と夜は実験所で提供します、1食400円）
- ※ 舞鶴水産実験所までの往復交通費は自己負担とします。

**8. 受講申込：**

● 申込方法：所属大学を通して期間中に郵送で申し込むこと。学生個人からの申し込みは一切受け付けない。

● 申込締切：10月3日（月）（必着）

※ 受講の可否は10月14日（金）までに書面にて所属大学宛てに通知します。なお、受講希望者が定員数を上回った場合には抽選による受講者選抜を実施します。

● 提出書類

〈申込時必要提出書類〉

- ・ 受入依頼書：依頼書の様式は任意とする。ただし、依頼者は学長または学部長・研究科長とし、受講希望学生の氏名、学年および所属学部・コース等が分かるような様式とすること。
- ・ 受講の可否通知用返信封筒：定形封筒もしくはレターパックに宛名（所属大学宛）を記入し、所定の切手を添付すること。

※ 同一大学内に複数の受講希望学生がいる場合には、取りまとめて提出いただいても構いません。

〈受講確定後必要提出書類〉

- ・ 個人登録カード（受講の可否通知の際に同封する）
- ・ 学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険証明書（領収書等のコピーでも可）

※ 受講確定後必要書類の提出締切は 10月21日（金）

## 9. 書類提出・問い合わせ先：

〒625-0086 京都府舞鶴市長浜無番地

京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所

電話：0773-62-5512 FAX：0773-62-5513

E-mail：maizuru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※ 必要書類の提出の際には、封筒の表に「博物館実習（館園実務）参加申込書類在中」と朱書きして下さい。

## 10. 実習内容：

- ・ 期間中には下記の実習項目を実施する。（日程は入れ替える可能性がある）
  - 1日目：魚類標本の扱い方や博物学の基本講義（オンラインの可能性あり）
  - 2日目：標本採集（フィールド）と広報・情報発信
  - 3日目：標本作製と標本の貸し借り
  - 4日目：標本の維持管理・データベース作成
  - 5日目：標本を用いた展示作業・教育活動